

LANTRONIX®

業界：

コネクテッドヘルスケア

LANTRONIXにより、医薬品製造におけるリモートデバイスのアウトオブバンド管理 (OOBM) を実現



成果のハイライト

- デバイスへの継続的なアウトオブバンド (OOB) アクセスとデバイス制御の実現
- コストのかかるネットワーク障害や不測の修理によるダウンタイムの影響の大幅な削減
- サポート応答時間の短縮 (3時間から3分に)
- 初期デバイス構成の品質管理とコンプライアンスの確保
- ネットワークに依存する生産プロセスの中断の削減

ケーススタディの概要

世界最大級の規模を誇るグローバル医薬品メーカーが、リモート管理、インシデントトリアージ、ネットワークインフラストラクチャの問題への迅速な対応を実現することを目的として、Lantronix (ラントロニクス) のアウトオブバンドソリューションを導入しました。その結果、問題の減少、コストのかかるネットワーク障害の削減、稼働時間の向上が実現しました。

課題：アクセスの不足および高額なダウンタイムコスト

Lantronixのアウトオブバンドソリューションを導入する以前に同社が抱えていた課題として以下が挙げられます。

- **アクセスの不足**：リモートサポートを提供する方法が存在していなかったため、ネットワークの問題に即座に対応することが不可能ではないにしても困難であった。
- **高額なダウンタイムのコスト**：生産遅延によるリアルタイムのコストおよび医薬品開発における仕掛品の損失による潜在的なコストの両方が製造現場で発生することから、ダウンタイムコストが高額であった。
- **安全なアクセスの不在**：製造現場のファイアウォールの背後に配置されている機器に安全にアクセスすることができなかった。
- **構成レコードの不在**：機器の展開または交換時の初期構成に関する詳細および構成変更の記録が存在していなかった。
- **これまでのメンテナンス不足**：デバイス構成の定期的な更新とメンテナンスが実施されていなかったことから、システムが障害に脆弱な状態になっていた。

「Lantronixのアウトオブバンドソリューションにより、この大手医薬品メーカーは、コストのかかるネットワーク障害やダウンタイムによる中断を回避しながら、ネットワーク稼働時間の向上というメリットを享受できるようになりました」

– ジャック・イッサ (Jacques Issa) 氏、
マーケティング担当副社長、Lantronix Inc.



Lantronix LM83X (8ポートシリアルカード)

LantronixのLM83X Local Manager (LM) は、ネットワークから独立して動作するように設計されたモジュラープラットフォームです。これにより、管理対象電源を含め、8台から104台のデバイスをリモートで監視、管理、制御することができます。



LM83Xは、企業やデータセンター向けのデュアル電源入力を備えたスケラブルかつ堅牢なLMです。接続オプションには、デュアルイーサネット管理、SFPポート、モジュラーアウトオブバンドモデムオプション、シリアルと専用イーサネット接続用の3つの拡張ベイが含まれます。

詳細：<https://www.lantronix.com/products/lm83x/>

解決策：Lantronixのアウトオブバンドソリューションによってデバイスのリモート管理を実現

同メーカーは、Lantronixの高度なアウトオブバンドソリューションを選択しました。これには、8ポートシリアルカード、LCDカード、LTEモデム、Lantronix Control Centerを備えたLM83Xが含まれています。ハードウェアに依存しないLantronixのアウトオブバンド管理プラットフォームでは、複数ベンダーのデバイスがサポートされており、ネットワーク全体の継続性が保証されています。

Lantronixのアウトオブバンドソリューションにより実現するメリット：

- 製造現場のファイアウォールの背後に配置されているネットワークインフラストラクチャへの安全な管理アクセス
- ネットワークインフラストラクチャの継続的な直接監視により、問題のトリアージおよび標準のRunbook応答を使用したデバイスの自動回復が実現
- ネットワーク管理者によるデバイスログイン時の自動デバイス構成管理
- 初期展開時または交換時のデバイスのゼロタッチプロビジョニング
- ネットワークデバイスの監視とデータ駆動型管理のカスタム自動化（Lantronixルールエンジンを通じて実現）

コストのかかるネットワーク障害、ダウンタイムによる中断、サポートへのアクセスの遅延により、瞬く間に数十万ドルを超えるコストが発生する可能性があります。こうした問題を回避できるLantronixの高度なアウトオブバンドソリューションにより、メーカーの投資利益率（ROI）が向上します

— ジャック・イッサ氏、マーケティング担当副社長、Lantronix Inc.

結果：コストのかかるネットワーク障害とダウンタイムの削減およびリモート管理の改善

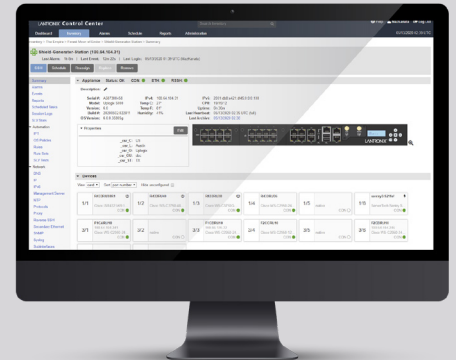
Lantronixのアウトオブバンド管理を導入したことで、製造現場ネットワークのファイアウォールの背後に隔離されていたネットワーク機器に関して、IT部門は以下を実現することができました。

- 安全なリモートでのアクセス
- サービスレベルの監視による良好な稼働時間の確保
- 構成の変更の検出、記録、ロールバック
- 故障デバイスの自動回復
- カスタムのイベントベースの自動化による問題の検出とサービスレベルの維持
- ネットワーク層0~3.5の問題への自動的な対処



Lantronix Control Center

事前構成されたデュアルCPUのラックマウント型サーバーに展開されるLantronix Control Centerには、組み込みのOracleデータベースエンジンが含まれています。また、これは顧客プロバイダーサーバーで実行できるVMとしても提供されています。



すべてのLantronix LMシリーズコンソールサーバーに集中管理ポイントをもたらすLantronix Control Centerにより、アウトオブバンド管理が実現します。コンソールサーバーを介して、ユーザーは分散型IT環境全体に展開されているすべての接続デバイスに直接アクセスし、自動的に管理できるようになります。ウェブベースのGUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）を備えたLantronix Control Centerにより、IT管理者はリアルタイムでデータを制御することで、接続されているすべてのネットワークデバイスとサーバーを容易に管理、構成、制御することが可能となります。

Lantronixについて

モノのインターネット（IoT）とリモート環境管理（REM）向けの安全なターンキーソリューションのグローバルプロバイダーであるLantronix Inc. は、SaaSデータ通信用SIMカード、エンジニアリングサービス、インテリジェントハードウェアを提供しています。

LANTRONIX[®]

lantronix.com/about-us